



# Via Latina 22

2018年10月 273号

## 総本部よりのお知らせ－マリア会



### オーストリア・ドイツ地区の新地区長

総本部は最近、地区長任命についてオーストリア・ドイツ地区のメンバーと意見聴取を実施しました。

2018年6月8日の会議で、総長評議員会は彼らの応答、その応答の中で提起された必要事、そして候補者の評価について話し合いました。

これらの応答を注意深く検討した後、総長評議員会は Helmut Brandstetter 師に対して、2018年8月13日から任期3年の地区長としての任命を承諾するよう要請しました。

同時に、総長評議員会はこれまで地区長として務められた Hans Eidenberger 師に心から感謝を表明します。

---

### カナダ地域共同体の新たな責任者

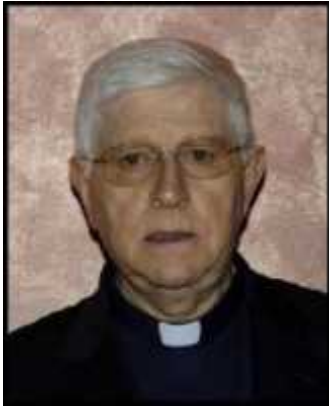
総本部は、カナダ地域共同体の最近の意見聴取への応答に対して、会員たちへ感謝を表明します。

マリア会総長、André Fétis 師は総長評議員会の同意を得て Florian Royer-Chabot 師をカナダ地域共同体の新たな責任者として任命しました。この第一期目の任期は3年で、2018年10月2日から始ります。同じ日に、カナダ地区は地区共同体となり、総長と彼の評議員会に直接属することになります。(Via Latina 22, No 271, P2)



総長評議員会は過去6年間地区長として奉仕された Gérard Blais 師に感謝します。

---



## サヨナラ、Romolo 神父、！

総会が近づいた昨年暮れ、2013年9月から総本部総書記を務めていた Romolo Proietti Segnalini 師は、総本部を離れ、イタリア地区に戻りたい旨、要望を表明しました。彼の要望は受け入れられ、9月14日に、Via Latina 22 の建物からほど近い彼の新しい共同体、マリアの聖なる御名小教区に移り、そこで多くの司牧奉仕を行っています。

私たちは、特に総本部の運営、スタッフの管理、そして多くの皆さんが享受したもてなしなどにおいて、マリア会全体への奉仕に私たちと共に

に Via Latina 22 で務められた5年間にわたる奉仕に対して、心から感謝を申し上げます。

新たらしい総書記の任命には時間がかかります。当面、Michael McAward 士がこの任務に就きます。彼はこの仕事に慣れており、事実、総本部書記局や他の部署で仕事をしている信徒のための強化された役割に信頼しています。彼がこの奉仕に応じることができることに感謝します。



---

## 世界のマリア会における初誓願

この数ヶ月間に、マリア会は世界中の幾つかの行政単位で、初誓願のお恵みを享受しました。私たちはこれらの会員一人ひとりにおめでとうと申し上げると共に、マリアニスト修道者として彼らの継続した養成のために祈りを捧げます。



2018年5月18日、アメリカ管区、オハイオ、デイトンにて  
Joseph Nugent 士と修練院長、Christopher Wittmann 師



2018年6月23日、トーゴ地区 ロメにて  
Moïse Kola 士（中央）、地区長 Ignace Pagnan 師（右）



2018年6月24日、メリバ管区ニューヨーク、シャミナード高校にて  
（左から右） Patrick Cahill 士、Andrew Santoriello 士、Peter Sennert 士



2018年6月30日、コートジボワール従属地区とコンゴ—特別地区、  
コートジボワール、アビジャンにて  
(左から右) Aimé Kpekpe 士 (コートジボワール) André Malosa 士 (コンゴ—)  
Julien Kouadio Kra 士 (コートジボワール)



2018年7月1日、韓国地区、Goyang 市にて  
Sung Yong Joseph 士 (中央)、Christopher Wittmann 師 (左) Bong Gyu Savio Choi 師 (右)



2018年8月18日、東アフリカ地区、ケニヤ、リムルにて  
(左から右) 修練院長、Jomo Maria Mwaura 師  
Charles Mwakasekele 士(初誓願者)、Lonard Emai 師(OSB)  
Dickson Ochieng Oganga 士(初誓願者)、地区長 Gabriel Kirangah 師  
Philip Adoka Okisai 士(誓願更新者)、Bernard Ombima Lugutu 師

## メリバ管区とコロンビア－エクアドール地区での叙階式



2018年8月18日、メリバ管区、Kellenberg 記念高校にて Daniel Griffin 師。叙階式はソロモン諸島、ホニアラ大司教区、Christopher Cardone 大司教 (OP) によって司式されました。



2018年8月18日、コロンビア－エクアドール地区、コロンビア、ボゴタにて Oscar Salazar Estupiñán 師。叙階式はヒラルドの Héctor Julio López 司教によって司式されました。

地区長、Carlos Julio Barragán 師（左）、Oscar Salazar 師（中央）、Remo Segalla 師（右）

## 第 35 回 マリア会総会決議の実施



第 35 回マリア会総会は私たちの修道会にとって特別な機会でした。それは総会の出席者のみならず、祈りと種々のメディアを通してローマの出席者と一致していた多くの修道者にとってもそうでした。

最初の段階から、総会の出席者たちはマリアニスト家族の中の修道者として生きるという私たちの召命の強化に向けて、私たちの生活と宣教を向けようと着手しました。私たちが“奉獻の祈り”で唱えているように、私たちは今日の世界でイエスを知らせ、愛させ、仕えさせるというマリアの救いの使命においてマリアを補佐するよう招かれています。総会から生まれた文書「死なない人：マリアニスト家族と共に行う宣教において」は、現在、私たちの Website ([www.marianist.org](http://www.marianist.org)) 上で見ることができ、また、すでに数か国語で出版されており、引き続きより多くの言語で出版されます。総本部は、各修道者とマリア会統治のそれぞれのレベル宛ての総会文書の呼びかけを略述するこの文書の要約を準備しています。これは間もなく行政単位の本部に送付されます。

もちろん、総会文書は重要ですが、それは総会の最も重要な成果ではありません。事実、総会の最も重要な成果はこれから記述されなければなりません。総会文書に非常にうまく表現されている総会の働きは、全てのレベルで、特に個々の修道者の生活において討議され、識別され、そして実践される時にのみ、この総会はその目指したゴールに到達することになります。ですから、私たちが共に本当に“死なない人”となるように、感激と希望を持ち、心を開いて全力でこのプロセスに進むよう、私たち皆さんを励まします。

## 注意喚起：10月14日、世界マリアニスト祈りの日



ラ・バンの聖母マリア聖堂（ベトナム）

10月14日、全マリアニスト家族は世界マリアニスト祈りの日のためベトナムと祈りで一致します。この日は、あの活動的なベトナムの教会と、2017年7月に日本のマリアニスト・シスターたちによってホーチミン近くに創設された共同体のために、神に感謝を捧げる機会となるでしょう。3名のベトナム人シスターがそこに在住しています。また、私たちは、今、日本に在住する4名のベトナム人男子志願者のために祈ります。彼らの中の3名は10月2日に東京で修練期を始めます。

この日を祝うための文書はすでに全行政単位に送付しています。皆さんの行政単位におけるこの日の式典の写真と概要を分かちあってください。

---

## 第7回 信徒マリアニスト共同体（MLC）国際会議

全世界から集まったMLC代表者は、8月12日~19日、韓国スーオンの聖ラザルス・ヴィリッジの黙想の家で世界会議を開催しました。この会議には代表者、オブザーバー、アドバイザー、そして招待者を含む約100名が参加しました。また、他の3つ枝からの招待者もいました。

この国際会議は4年毎に開催され、世界各地の共同体の状況を検討評価し、次の4年間の課題を明らかにし、そして地域責任者と国際チーム議長を選出します。

この会議が次の4年間のために提起した課題は4つの主要テーマに焦点を合わせています。

- \* MLCへの帰属意識を励まし、帰属の結果としての財政的負担を引き受ける
- \* MLCメンバーの養成を促進する
- \* 貧者および社会から取り残された人々を助ける
- \* MLCへの若者の加入を心がける

最終日の朝、新たな国際チームが選出され、マリア会総長、André Fétis 師の司式で行われた閉会式で新たな国際チームはその責任を引き受けました。選出された次の4年間のチームメンバーは次の通り：

- \* Béatrice Leblanc (フランス), 信徒マリアニスト共同体の国際チーム議長
  - \* Mercedes de la Cuadra (スペイン), 欧州地域責任者
  - \* Francisca Jere (ザンビア), アフリカ地域責任者
  - \* Marceta Reilly (アメリカ), 北アメリカ、アジア、アイルランド、オーストラリア地域責任者
  - \* Nidia Rodriguez (コロンビア), ラテンアメリカ地域責任者
- 会議の後, Domingo Fuentes 士がチームのアドバイザーに任命されました。



## アリアンス・マリアル：2018－2023 年間の新指導部

マリアニスト在俗会であるアリアンス・マリアルのメンバーは、最近の数週間で新たな指導者たちを選出しました。メンバーが分散しているために、意見聴取は遠距離の作業で、またインターネットで行われました。同じ方法で、メンバーの皆さんはアリアンスの生活と目標に関して一緒に考察することが出来ました。選挙の結果は次の通りです：



Christiane Barbaux、会長  
(フランス)



Marie-Laure Jean、評議委員  
(フランス)





Sonia Galarza、評議委員  
(エクアドール)



Françoise-Romaine Lissana、評議委員  
(トーゴ)

私たちの同僚の一人 Jean-Edouard Gatuingt 師 (フランス) が会長とその評議員会の顧問司祭です。私たちの祈りと、機会がどこで起ころうとも、アリアンスと協働したいとの私たちの望みを、私たちは新たな指導者たちに保証します。

### 総本部の新しい e-mail :

- \* マリア会総長、André Fétiş 師 : [gensupsm15@smcuria.it](mailto:gensupsm15@smcuria.it)
- \* 霊生局長、Pablo Rambaud 師 : [genreism18@smcuria.it](mailto:genreism18@smcuria.it)

### 最近の総本部通信

- \* 訃報 : # 14-24
- \* 9月21日 : “宣教事業におけるマリアニスト的アイデンティティーの確保” (3か国語で) 教育局長、Maximim Magnan 士からマリアニスト行政単位の責任者と教育補佐に送付された。
- \* 9月27日 : 連帯と養成資金についての書簡(3か国語で)、財務局長、Michael McAward 士からマリアニスト行政単位責任者と財務補佐に送付された。

### アドレス変更

全て新たな e-mail は次回、国際名簿で紹介されます。

### 総本部日程

10月26-28日 : マリアニスト家族世界評議会がローマで開催